



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2019 年 11 月報

- 国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション」
- 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動」
- 北東部長主題 「各クラブの個性を磨こう」
- クラブ会長主題 「ホップ・ステップ・そろそろジャンプ」

会 長 中川典幸
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 吉田一恵
 メネット会長 田中京子
 担当主事 高橋光子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句> 「呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え、わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。谷は全ての身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに狭い道は広い谷となれ。主の栄光がこうして現れるのを、肉なる者は共に見る」

イザヤ書 第40章3節～5節

11月の例会

日 時 : 11月19日(火)
 18:00 ~ 20:30
 会 場 : 永井 孝憲 宅
 内 容 : 「新居訪問例会」
 司 会 : 今澤 智代
 食前感謝 : 高松 成士

10月例会報告

在籍者	15名
出席者	11名
メイキャップ	0名
ゲスト・ピジター	5名
メネット・コメント	2名
出席率	63.3%
ニコニコ	16,000円

「ある日のおばあちゃん」

吉田 一恵



私は2019年9月末から10月初め2週間ほど大阪の孫達宅に滞在しました。

楽しみの一つ、今年中学になった孫娘の体育祭、小学生二人の運動会の応援でした。中学生の体育祭は1年から3年まで縦割りで赤、白、青、黄、緑色の5チームに編成され、個人競技、団体競技で競い、総合点で順位を決める方式でした。残念なことに孫娘の赤組は第3位でした。小学生の運動会は1年生から6年生まで縦割りで赤組、白組に分かれて、個人競技、団体競技で競い、総合点で順位を決める方式でした。運が悪いと言いますか、小学生の二人の孫は紅組と白組に分かれてしまいました。これでは大声で「赤頑張り」とか、「白頑張り」と言えず、リレーの時のみ、名前を呼びお応援しました。小差で次男の赤組の勝利でした。長男の孫は「昨年も僕、白組で、勝ちも赤組だった。」と笑顔で話しました。その姿を見て何故かホットしている私でした。

また、孫娘は中学でバスケットボール部に所属、長男の孫もバスケットボールチームに所属、次男の孫はサッカーチームに所属しています。実際の競技等はビデオのみでしたが、来年こそはせめて練習風景だけでも見られたらと今から楽しみにしています。

それから学校から帰宅後の日々の練習後に出る洗濯物の量は常に洗濯機にいっぱい状態、育ち盛りの孫達の食事の量にも驚きました。時には、娘は退社後、遠方まで練習に行った子供を迎えに行き、午後8時近くに帰宅する時もあり、私が子供を育てた時より大変と思いました。

おばあちゃんに出来ること、私は日々の掃除、洗濯、食事の用意を引き受け、得意の分野、娘

が手掛け途中の縫物を仕上げました。

帰宅の日、娘に「この2週間、からだ休めたわ、有難う」と言われました。
孫達から元気を貰った私のささやかなお返しでした。



11月強調月間 「ワイズ理解/ファミリーファスト」

「ワイズ理解」について、1928年11月10日に大阪のワイズメンズクラブが日本で初めてワイズメンズクラブ国際協会に加盟した。この日を記念してワイズデーとし、今月をワイズ理解の月としている。毎年この日を中心に全国のワイズメンが一斉に行動を起こすことによって、外部に対しPR活動を行うとともに、内部に向けてはクラブの団結、融和をはかることが提案趣旨でした。実際の活動内容は、各クラブの地域性、特色を考慮して、クラブ、部に一任するという内容です。「ファミリーファスト」について、“Family Fast” いわゆる出来る範囲で断食を家庭内や知人、友人に呼びかけ食事をしないで、その分を献金しましょうという奉仕活動のことです。

<10月例会報告>

日時：2019年10月15日（火）

会場：仙台YMCA 3階・サービス実習室

出席者：阿部・阿部コメ・今澤・小幡・佐々木・高橋・高松・田中・田村・田村メネ
中川・横倉・吉田

ゲスト：加藤重雄さん・加藤真子さん・菅野 健さん・清水弘一さん・小野久子さん

恒例の芋煮例会。作年、一昨年と大変好評であった、仙台風と山形風の二種類の芋鍋を今年も調理頂いた。仙台芋煮は女子会が、山形芋煮は材料の調達から完成まで3年連続で小幡ワイズメンが担当した。会場も同様に3階のサービス実習室。

司会は横倉書記。開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条と続き、中川会長挨拶では「多くのゲストの方に参加を頂きありがとうございます。台風の被災地訪問で角田に行ってきましたが、どこに向かっても道路が寸断されていて、動きが出来ない状態でした。被災地の一日も早い復旧を願います。」と述べられた。

ゲスト紹介では青葉城クラブの加藤ご夫妻、広瀬川クラブの菅野さん、石巻広域の清水さん、仙台クラブ助っ人の小野久子さん、そして阿部コメットが紹介され、また、久々例会に出席した永井ワイズがゲスト扱いとなり、出席者の笑いを誘った。

食前感謝は高松ワイズ、乾杯の発声は阿部ワイズ、一言ワイズとは、に触れられ「カンパイヤ」さあ食べますよ！まずは山形風から、いや仙台風からと思いに鍋に向い、それぞれを味わい、しばし舌鼓を・・・

徐々に箸の動きが止まったところを見計らい、ゲストの皆さんから一言ずつご挨拶を頂きましたが、皆さん「美味しい、美味しい・・・」の共通感想が述べられました。

後半にはパソコンとテレビ画面を接続し、YouTubeから「♪もみじ」を配信、全員での合唱があり、連絡報告に。明日、明後日と続く広瀬川、青葉城の各例会へのお誘いがあり、東日本区メネットの集いの日程が周知された。誕生祝い、1日吉田ウィメンは大阪のお孫さんたちに囲ま



れ、とてもハッピーな誕生会をしてもらってきたと、8日田村ワイズメンはめでたく喜寿を迎えられたと、皆での♪ハッピーバースデイにて祝福されました。

美味しいおにぎりを持参していただきました女子会の皆さん、沢山の自家野菜を提供して頂きました佐々木ウィメン、山形芋煮を担当頂きました小幡ワイズ、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。 ニコニコ 16,000円。



<11月第二例会報告>

日 時：2019年11月5日（火） 18:30~20:30

会 場：仙台YMCA会議室

出席者：佐々木・高橋・田中・永井・中川・横倉・吉田

- ① 11月例会は、ご本人からのお誘いにて、昨年12月に八木山に新居を構えた、永井ワイズメンの自宅にて開催することを確認した。開始時間は18時を目途とする。食事はいつもの「味のふるさと弁当」を準備する。会費は500円とし手土産を持参する。果物が良いとの希望あり、購入は吉田ウィメンにお願いする。
- ② 「仙台YMCAクリスマス」日時：12/6（金）18:00～、会場：トークネットホール（仙台市民会館）地下展示室。昨年は稲荷ずしと、杏仁豆腐ポンチを提供したが、今年は数を重視し女子会が腕をふるって、稲荷ずしのみを提供とする。尚、会員には入場券各2枚の購入に協力をお願いする。
- ③ 10/21（月）に持たれた、4クラブ（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域）連絡会議の報告があり、内容について確認された。
- ④ 11/4（祝）に水害被災地、丸森病院及び金谷地区の支援報告があり確認された。NHK宮城の気象予報士、関口元朝さん（YMCA幼稚園保護者）も参加し、黙々と活動されたとのこと。
- ⑤ 国際地域協力募金、街頭募金は11/23（祝）及び12/22（日）に行われる。確認する。
- ⑥ 11/10（日）にアルミ空き缶処理を行くこととする。
- ⑦ 11月理事通信（東日本区ニュース）は未着により確認できず。
- ⑧ 12月クリスマス例会について意見交換を行う。会場等、是非皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

第44回平和七夕の報告とお礼の会に出席して

吉田 一恵

2019年10月11日家具の町にあるカニ政宗で「平和を祈る七夕市民の会」の平和七夕の報告とお礼の会がありました。例年、仙台七夕が近づくと「平和を祈る七夕市民の会」代表の油谷重雄さんが所属の仙台北教会で毎週水曜日に油谷重雄さんを中心に七夕市民の会の会員を中心に有志の方達と吹き流し等の追い込み作業（仙台YMCAの会議室等も含む）が始まります。私も元仙台クラブメネットの新子元子さん繋がりです。北教会での作業にも参加していました。油谷重雄さんから七夕の報告とお礼の会のご案内の電話を頂いたときに、アジア大会の時に飾った七夕飾りもこの方達の支援がなければ実現出来なかったこともあり、そのお礼も述べる良い機会と思い参加しました。ワイズ信条とこの会の志が共通すること、私たちワイズも末永く関わって来た事を述べ、感謝の言葉を述べました。この日の参加者は12名でした。



油谷重雄さんが『会に参加頂き有難うございます。』とお礼を述べられて、最初の年は20数名の手で折り鶴20千羽からスタートでしたが、44回目の今年は北海道から九州まで全国各地から25,000人の方々から過去最高の140万羽の折り鶴が寄せられ、その内18万羽を5本の吹き流しにして5本の笹竹に飾り、残りの折り鶴122万羽は約13,000本のレイ（首飾り）にして仙台七夕の見物の方々に家に帰ったら家族に、近所の方に「ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ」を訴えてほしいと差し上げることが出来ました。レイを頂いた方は子供さんや孫に『今日は原爆の日』などと語りかけていましたと報告がありました。

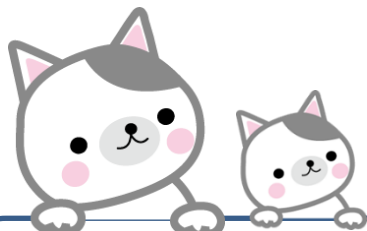
また、今年の七夕で印象深かった事は

- ① 次の世代を担う子供達に風化させないように「ヒロシマ・ナガサキ」の実相を伝え、核兵器も戦争もない社会の実現をと訴えました。今年は新たに宮城第一高校、仙台育英学園、飛鳥未来きずな高校仙台キャンパス、また県内の多くの小・中・高校に加え、東京、会津、横浜の高校生、尚絅学院大学YMCAが参加して下さいました。
- ② 飾付作業とレイ作りは、仙台北教会と仙台YMCAの2か所で実地しました。両会場とも毎回10名以上の方が参加して下さいました。特に尚絅学院校の生徒さんが毎回参加で延べ35名、8月4日は東京と会津の高校生が参加、被爆者の証言を伺った後、飾付作業をして頂き大変励まされた。
- ③ 北海道稚内ユネスコ協会がこの運動の輪を全道に広げ、427,000羽の折鶴の半数は3.5mの糸に通し、残りはレイにして送って下さいました。
- ④ トヨタ自動車の社員505名の方々が「チョイボラ（地域の人々との交流）」で参加があり、大きな励みになった。
- ⑤ 外国の方にも判ってもらえるようにレイの短冊に英語を書き加え好評でした。
- ⑥ 外国人の参加が多かった。（仏、イスラエル、パレスチナ、ネパール、コロンビア、ガーナ）
- ⑦ 7月16日から21日まで3日間アジア各国、国内から800人近くが参加して仙台国際センターの会場を中心にワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域大会が開催され、参加したアジアの方々に「ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ」を訴えました。



1 昨年から核兵器廃止の道が大きく前進しましたが、印・パの紛争、米・口の核開発競争で核の恐怖も拡大している。兵器廃絶を現実のものにするためにこれからも平和七夕で訴え続けていきたいと思ひます。

油谷さんの報告後、昼食しながらのお話の中心はこの活動を継続するに当たり、油谷さんの後を継いでくれる方の話が今年も出ました。嬉しい事に参加者の中に『息子に話してみる』と言う方が現れたことで、種火が出たことに喜びを胸に来年の七夕作業のあれこれを話ながら閉会となりました。



私の好きな猫

田村 成子

我が家には、2匹の猫がいます。1匹はペットショップでひとめぼれ。今年で17歳（オス）。人が好きで、来客にはイソイソとご挨拶に来て膝の上に……。みんなに可愛がられる猫。

もう1匹は、拾い猫。1歳位で我が家へ来ましたが、気が強くなかなか人にはなつかず、抱っこできるのは娘のみ……。私のことはご飯など世話をする便利なおばさんと思っ
ているのでは……。でも2匹とも可愛く、囲まれているときに至福の私です。



11月の花

ツバキ（日本のバラと称されるツバキ）



江戸時代から日本で親しまれ続けてきた花・ツバキ。ツヤのある緑色の厚い葉と、ぽってりと丸く愛らしい花びらが特徴です。何度も品種改良を重ねた結果、日本産だけで2,200を超える種類があります。ツバキの花言葉には、「控えめな優しさ」「誇り」「謙虚な美德」などがあります。花の中でも気高く美しいといわれる花がバラですが、ツバキはその美しさから「日本のバラ」とも呼ばれています。花言葉は花びらの色で異なり、赤ツバキには

「気取らない優美さ」、白ツバキには「完全なる美しさ」、ピンクツバキには「控えめな愛」などの言葉が込められています。



編集後記 11月もまもなく終わり2019年もあとひと月。あっという間の1年。ブリティッシュ作
成も皆様のご協力を得て無事発行です。次号からは早めの締め切りと原稿づくりに邁進いたしま
すのでご協力願ひます。さて……。年末年始の準備ですね。年賀状やおせちやお餅など仕事より
忙しくなる年末年始です……。ふう……。(MT)